

## 【株式会社真鍋プランテック】

基本方針		自主的かつ計画的に脱炭素化に取り組み、2030年度までに自社の二酸化炭素排出量を、16.7%削減することを目指します。						
計画期間		2025 年度 ~ 2030 年度						
二酸化炭素の排出量及び削減の目標	二酸化炭素の排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準年度 2024 年度	第1年度 2025 年度	第2年度 2026 年度	第3年度 2027 年度	第4年度 2028 年度	第5年度 2029 年度	第6年度 2030 年度
	事業活動に伴う排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) 【A】	72,230	70,063	67,961	65,922	63,944	62,026	60,165
	カーボン・オフセット (kg-CO <sub>2</sub> ) 【B】							
	評価の対象となる排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) 【A】 - 【B】	72,230	70,063	67,961	65,922	63,944	62,026	60,165
	年度ごとの増減率 (%) 【基準年度比】	/	▲ 3.0	▲ 5.9	▲ 8.7	▲ 11.5	▲ 14.1	▲ 16.7
二酸化炭素の排出を抑制するための具体的な取組内容		1年目	製缶板金工場で使用しているスポットクーラーや電気ストーブを高効率空調設備に更新するとともに、太陽光発電設備と蓄電池を導入し、自家消費することで、CO2排出量の削減を図る。また、照明のこまめな消灯を徹底するなど、ソフト面での取組も行う。					
		2年目	組立板金工場で使用しているスポットクーラーや電気ストーブを高効率空調設備に更新することにより、CO2排出量の削減を図る。					
		3年目	既存の太陽光発電設備の自家消費率を向上させるため、蓄電設備を増設し、CO2排出量の削減を図る。					
		4年目	工場全体の照明器具をLEDに更新することにより、CO2排出量の削減を図る。					
		5年目	太陽光発電設備を増設し、自家消費することで、CO2排出量の削減を図る。					
		6年目	太陽光発電設備を増設し、自家消費することで、CO2排出量の削減を図る。					